

輝け！シン尾花沢中

ゆくてののぞみ 語りつつ 自律をめざす わが学園

クラブチームでの大会に参加して

6月21日（土）・22日（日）に、ハンドボールとバレーボールのクラブチームによる大会が開催されました。今回は、出場した尾中生の振り返りを紹介します。

■HC 山形（ハンドボールクラブ） 3年 戸田明日羽さん



大会で学んだことは、自分たちで楽しんでプレーできたことです。また、自分たちのミスが多かったということにも気づくことができました。これから行われる大会は全国大会ですが、春の全国大会はとても悔しい思いをしてきました。ここからがスタートだと思っているので、残りの期間を大切に過ごし、夏の全国大会では優勝できるように頑張ります。

■BLOOM 山形（ハンドボールクラブ） 3年 菅藤菜央さん



「応援されることが当たり前じゃない」。今回の大会で、このことに気づくとともに学ぶことができました。チーム全員が、価値に向かって努力しているからこそ応援してくれる人が増えている。そして、お父さん、お母さんも、自分が頑張っているから、そばで支えてくれる。こういったことを学ぶことができました。これからの学校生活では、よく周りを見て、多くの人の背中を押せるような存在になりたいです。

■尾花沢 VC（バレーボールクラブ） 3年 伊豆匠人さん



「最高の仲間と共に、最高の舞台に立つ」これまで支えてくださったすべての方々への感謝を胸に悔いのない一戦を戦い抜きました。共に成長してきたこのチーム、このメンバーと、この舞台に立てたことを心から誇りに思います。言葉では言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。今日で一区切りですが、このチームで学んだことや、バレーを通して得た経験はこれからの人生で必ず生きるはずで、それぞれの道に進んでも、みんなならきっと輝けると信じています。またいつか笑顔で会おう！3年間、本当にありがとう！

先日の北村山中学校総合体育大会に出場した副部長の振り返りと同じように、これまでの頑張りと努力に価値を見だし、周囲へ感謝の気持ちをもつなど、人間として大きな成長を遂げていることがうかがえました。経験して得た学びを自身の成長につなげる意識を、すべての尾中生が持ってほしいと願っています。

【文責：校長 工藤雅史】